

## 1-3 中国語学中国文学

### 研究・教育活動の概要と特色

専攻分野・中国文学中国語学の歴史は、大正14年7月の勅令264号により、支那学第二講座としての中国文学講座の設置にはじまります。

中国文学は、数千年にわたる一貫した歴史を有し、その様式も詩詞、散文、韻文、文言小説、口語体の白話小説、元・明の戯曲、近現代小説と多岐にわたります。本専攻では、これら豊饒な中国文学の世界の全てを研究対象としています。のみならず、語彙・語法・音韻等中国語学も研究対象に含めています。これらはみな、正確な文献の読解をまっぴらしてはじめてその研究の深化を図ることができるものです。そこで本専攻では、現代文・文言文を問わず、何よりも文献読解力の養成に力を入れています。学生・大学院生は、演習・研究演習・講読を通して読解力を高め、その基礎の上に立って自己の選んだテーマについて研究します。そのため本専攻の教員は、それぞれ独自の研究テーマを追究する専門性と同時に、中国文学中国語学全般に通暁する幅広い知識と見識が求められています。

また、学問の性格上、文献の読解には、辞書その他の工具書はもとより経・史・子・集の全てにわたる文献の利用が必須となっています。そのため本専攻は、中国思想中国哲学専攻や東洋史専攻と緊密な連携をとっており、これら二専攻との共同研究や読書会も盛んに行われています。本専攻の院生・学生は、これら二専攻の教員や院生・学生から研究に必要な種々の事柄についての指導・助言を受けることが可能であり、それが当専攻の伝統となっています。

### I 組織

#### 1 教員数（2015年5月20日現在）

教授：1

准教授：2

講師：0

助教：1

教授：佐竹保子

准教授：馬曉地 土屋育子

助教：田島花野

## 2 在学生数（2015年5月20日現在）

| 学部<br>(2年次以上) | 学部<br>研究生 | 大学院博士<br>前期 | 大学院博士<br>後期 | 大学院<br>研究生 |
|---------------|-----------|-------------|-------------|------------|
| 8             | 1         | 5           | 5           | 1          |

## 3 修了生・卒業生数（2010～2014年度）

| 年度 | 学部卒業生 | 大学院博士課程<br>前期修了者 | 大学院博士課程<br>後期修了者<br>(含満期退学者) |
|----|-------|------------------|------------------------------|
| 10 | 4     | 2                | 1                            |
| 11 | 5     | 4                | 1                            |
| 12 | 2     | 3                | 2                            |
| 13 | 7     | 2                | 2                            |
| 14 | 3     | 4                | 1                            |
| 計  | 21    | 15               | 7                            |

## II 過去5年間の組織としての研究・教育活動（2010～2014年度）

### 1 博士学位授与

#### 1-1 課程博士・論文博士授与件数

| 年度 | 課程博士授与件<br>数 | 論文博士授与件<br>数 | 計 |
|----|--------------|--------------|---|
| 10 | 0            | 0            | 0 |
| 11 | 1            | 1            | 2 |
| 12 | 1            | 0            | 1 |
| 13 | 1            | 0            | 1 |
| 14 | 1            | 0            | 1 |
| 計  | 4            | 1            | 5 |

#### 1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

福山泰男、2011年度、「建安文学の形成と展開」、教授・佐竹保子（主査）、  
教授・花登正宏、教授・三浦秀一

高戸 聡、2011年度、「中国神話における天と地との媒介として機能する  
神の研究」、教授・花登正宏（主査）、教授・佐竹保子、教授・三浦秀  
一、教授・川合安、准教授・齋藤智寛

菅原尚樹、2012年度、「『全相平話』五種研究—地理叙述を中心に—」、  
教授・佐竹保子（主査）、教授・三浦秀一、教授・磯部彰（東北アジア  
研究センター）、准教授・齋藤智寛

上原暢尉、2013年度、「王褒作品研究」、教授・佐竹保子（主査）、教授・  
三浦秀一、教授・川合安、准教授・土屋育子、准教授・齋藤智寛

田島花野、2014年度、「『楚辞』「招魂」・「大招」の研究」、教授・佐  
竹保子（主査）、教授・三浦秀一、教授・川合安、准教授・土屋育子

## 2 大学院生等による論文発表

### 2-1 論文数

| 年度 | 審査制学術誌<br>(学会誌等) | 非審査制誌<br>(紀要等) | 論文集<br>(単行本) | その他 | 計  |
|----|------------------|----------------|--------------|-----|----|
| 10 | 3                | 0              | 1            | 1   | 5  |
| 11 | 1                | 1              | 0            | 0   | 2  |
| 12 | 2                | 0              | 0            | 0   | 2  |
| 13 | 0                | 2              | 1            | 0   | 3  |
| 14 | 1                | 0              | 1            | 1   | 3  |
| 15 | 1                | 0              | 0            | 0   | 1  |
| 計  | 8                | 3              | 3            | 2   | 16 |

\*2015年度は5月20日までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

### 2-2 口頭発表数

| 年度 | 国際学<br>会 | 国内学<br>会 | 研究<br>会 | その他 | 計  |
|----|----------|----------|---------|-----|----|
| 10 | 1        | 1        | 1       | 0   | 3  |
| 11 | 1        | 1        | 0       | 0   | 2  |
| 12 | 0        | 3        | 0       | 0   | 3  |
| 13 | 1        | 2        | 0       | 0   | 3  |
| 14 | 0        | 1        | 5       | 0   | 6  |
| 15 | 0        | 4        | 0       | 0   | 4  |
| 計  | 3        | 12       | 6       | 0   | 21 |

\*2015年度は5月20日までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

### 2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

#### (1) 論文

高戸聰

「「明神」の役割と性格に関する一考察」、『日本中国学会報』第 62 集、  
2010.

「山川の神々の性格について—「民則に狎れ、其の<sup>おこな</sup>為を<sup>いさぎよ</sup>鯛く」しない  
神々—」、『集刊東洋学』第 104 号、2010.

平良妙子

「中国に伝わった「琉球」」、上里賢一・高良倉吉・平良妙子編集『東ア  
ジアの文化と琉球・沖縄——琉球／沖縄・日本・中国・越南』（彩流  
社）所収、2010.

盧紅鸞 著／平良妙子 訳「琉球漢学の形成とその影響について」、上里賢一・  
高良倉吉・平良妙子編集『東アジアの文化と琉球・沖縄——琉球／沖  
縄・日本・中国・越南』（彩流社）所収、2010.

「琉球中山八景「城嶽靈泉」考—清代の冊封使徐葆光が詠じた詩を中心  
—」、『集刊東洋学』第 106 号、2011.

陳捷先著/平良妙子訳「清代に出版された琉球の『地方志』について」、陳  
捷先著/赤嶺守・張維真監訳『華夷秩序と琉球王国：陳捷先先生中琉歴  
史関係論文集』榕樹書林、2014.

「琉球中山八景「久米竹籬」考—「久米竹籬」の変遷を中心に—」、『万  
国津梁—東亜海域史中的琉球：第 24 届中琉歴史関係国際学術会議論  
文集』中琉文化協会、2014.

田島花野

「『楚辞』招魂篇と大招篇の四方描写について」、『集刊東洋学』第 103  
号、2010.

「『楚辞』「招魂」・「大招」の飲食描写」、『集刊東洋学』第 107 号、  
2012.

「『楚辞』における「楚」字——二招の国名を手掛かりとして——」、大  
野圭介主編『『楚辞』と楚文化の総合的研究』、汲古書院、2013.

「『楚辞』「招魂」・「大招」の美女描写」、『東北大学中国語学文学論  
集』第 18 号、2013.

菅原尚樹

「『漢書抄』「高后紀」と「文帝紀」における『新刊全相平話前漢書続集』  
の長文引用部分に対する考察」、『日本漢文学研究』第 10 号、2015.3

上原尉暢

「王褒「洞簫賦」における自然描写をめぐって」、『東北大学中国語学論集』第16号、2011.

「王褒「洞簫賦」をめぐって——音楽描写を中心に——」、『集刊東洋學』第107号、2012.

程遠

「論朱子之文學觀於錢穆之所見」、『東北大学中国語学文学論集』第18号、2013.

堀川慎吾

「『律條公案』における訟師秘本からの影響について」、『集刊東洋学』第113号、2015.

## (2) 口頭発表

高戸 聰

「「民則」に狎れる神々」、第59回東北中国学会大会、2010.5.30

「古代中国に於ける宗教職能者-巫と祝宗ト史-」、第7回東北シャマニズム研究会、2010.7.1

平良妙子

「琉球中山八景「久米竹籬」考—「久米竹籬」の変遷を中心に—」、第24届中琉歴史関係国際学術会議：万国津梁—東亜海域史中的琉球、2013.11.29～30

「琉球中山八景考—「長虹秋霽」を中心に—」、沖縄文化協会2014年度公開発表会、2014.7.20

田島花野

「關於《招魂》与《大招》的四方描写」、中国楚辞学国際学術討論会及び中国屈原学会第13回大会、2010.10.31

「《楚辞》〈招魂〉的宮殿描写」、中国楚辞学国際学術討論会及び中国屈原学会第14回大会、2011.06.04

「『楚辞』「招魂」・「大招」の飲食描写」、東北中国学会第61回大会、2012.05.27

菅原尚樹

「地理叙述よりみる「全相平話」と明代歴史小説の継承関係について——

『新刊全相平話樂毅図斉七国春秋後集』『新刊全相平話前漢書続集』  
を中心に――」、東北中国学会第 60 回大会、2011.5.29.

「『漢書抄』『帝紀』における全相平話『前漢書続集』の抄写について――  
語句の削除、変更、改訂、増補を中心に――」、東北中国学会第 62 回大  
会、2013.5.26

「『漢書抄』『帝紀』における全相平話『前漢書続集』の抄写について」、  
日本中国学会第 65 回大会、2013.10.13

上原尉暢

「王褒「洞簫賦」の音楽描写」、東北中国学会第 61 回大会、2012.05.27

程 遠

「錢穆の文学観の三要素：「文」・「道」・「人生」」、東北中国学会第  
61 回大会、2012.05.27

堀川慎吾

「『律條公案』と訟師秘本との関連について」、東北中国学会第 63 回大会、  
2014.5.25

「『律條公案』における訟師秘本からの影響について」、2014 年度中国古  
典小説研究会、2014.09.04

「『詳刑公案』における訟師秘本からの影響について」、東北中国学会第  
64 回大会、2015.05.30

高崎駿士

「『詩経』研究――衣の表象性について」、東北シナ学会二月例会、2015.2.13

「『詩経』鄭風・子衿篇の解釈をめぐって」、東北中国学会第 64 回大会、  
2015.5.31

福長 悠

「穆時英研究――『南北極』『公墓』の都市表象を中心に――」、東北シ  
ナ学会二月例会、2015.2.13

「穆時英「斷了條胳膊的人」論――反復される切断の表象に着目して――」、  
東北中国学会第 64 回大会、2015.5.31

室 貴明

「蘇軾文学研究――「前赤壁賦」から「後赤壁賦」へ――」、東北シナ学  
会二月例会、2015.2.13

「黄州左遷期の蘇軾について」、東北中国学会第 64 回大会、2015.05.31

### 3 大学院生・学部生等の受賞状況

中山大地 平成 24 年度総長賞受賞（2012 年度学部生）

### 4 日本学術振興会研究員採択状況

2015 年度、D C、採用、1 人

### 5 留学・留学生受け入れ

#### 5-1 大学院生・学部学生等の留学数

2010 年度 学部 計 1 名 復旦大学（中国）

大学院 計 1 名 復旦大学（中国）

2011 年度 なし

2012 年度 学部 計 2 名 国立中興大学（台湾）

2013 年度 学部 計 2 名 国立台湾大学（台湾）、国立中山大学（台湾）

2014 年度 学部 計 3 名 国立中山大学（台湾）

#### 5-2 留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

| 年度 | 学部 | 大学院 | 計  |
|----|----|-----|----|
| 10 | 5  | 1   | 6  |
| 11 | 4  | 3   | 7  |
| 12 | 1  | 6   | 7  |
| 13 | 1  | 2   | 3  |
| 14 | 2  | 1   | 3  |
| 15 | 1  | 3   | 4  |
| 計  | 14 | 16  | 30 |

### 6 社会人大学院生の受け入れ数

| 年度 | 前期課程 | 後期課程 | 計 |
|----|------|------|---|
| 10 | 0    | 1    | 1 |
| 11 | 0    | 1    | 1 |
| 12 | 0    | 1    | 1 |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 13 | 1 | 0 | 1 |
| 14 | 1 | 0 | 1 |
| 15 | 0 | 0 | 0 |
| 計  | 2 | 3 | 5 |

## 7 専攻分野出身の研究者・高度職業人（2010年度～2015年5月20日）

### 7-1 専攻分野出身の研究者

矢田尚子、盛岡大学、2012年度より  
 平良妙子、琉球大学、2013年度より  
 高戸 聰、福岡女学院大学、2014年度より

### 7-2 専攻分野出身の高度職業人

中高教員 4 名、  
 通訳 0 名、  
 ジャーナリスト 0 名、  
 出版社社員 1 名

## 8 客員研究員等の受け入れ状況（2010年度～2015年度）

## 9 外国人研究者の受け入れ状況（2010年度～2015年度）

ニュージーランド Otago 大学高級講師 趙曉環氏 2011年2月9日

## 10 刊行物（専攻分野刊行のもの）

『東北大学中国語学文学論集』（専門分野の機関誌）1996年より毎年刊行

『集刊東洋学』（東洋史・中国思想中国哲学との共同）年2回刊行

## 11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2010年度  
 なし  
 2011年度  
 なし



2012 年度

なし

2013 年度

なし

2014 年度

六朝学会第 30 回例会、2015 年 3 月 14 日

2015 年度

第 64 回東北中国学会大会、2015 年 5 月 30 日～31 日

## 1 2 専攻分野主催の研究会等活動状況（2010 年度～2015 年 5 月 20 日）

2010 年度

7 月 27 日 2010 年度第一回中国文学談話会

8 月 2～4 日 夏合宿研究会

11 月 6 日 2010 年度第二回中国文学談話会

2011 年度

8 月 6 日 2011 年度第一回中国文学談話会

10 月 1～2 日 夏合宿研究会

11 月 12 日 2011 年度第二回中国文学談話会

2012 年度

8 月 6 日 2012 年度第一回中国文学談話会

8 月 4～5 日 夏合宿研究会

11 月 17 日 2012 年度第二回中国文学談話会

2013 年度

8 月 3 日 2013 年度第一回中国文学談話会

8 月 25～26 日 夏合宿研究会

11 月 15～16 日 2013 年度第二回中国文学談話会

12 月 6 日 2013 年度第三回中国文学談話会

2014 年度

7 月 25 日 2014 年度第一回中国文学談話会

9 月 28～29 日 夏合宿研究会

11 月 14 日 2014 年度第二回中国文学談話会

|        |                  |
|--------|------------------|
| 12月9日  | 2014年度第三回中国文学談話会 |
| 2015年度 |                  |
| 4月6日   | 2015年度第一回中国文学談話会 |
| 5月8日   | 2015年度第二回中国文学談話会 |

### 1.3 組織としての研究・教育活動に関する過去5年間の自己点検と評価

学部教育については、基礎的学力を涵養するために、他の専攻分野同様に履修モデルを作り、『学生便覧』を通じて学部生に供している。またとくに、現代中国語運用能力と古典漢文読解能力とを高めるために、助手・助教およびTAによる学習会を設けている。現代中国語については、金・土・日を除く毎日正午の20分間を当てている。元来2年生の1学期（3セメ）のみを対象としたものであるが、近年3年生や4年生、さらには他専攻の学生も参加を希望し、また、2学期（4セメ）も続けて会話練習をしてほしいとの要請があったりして、指導担当者が嬉しい悲鳴をあげている。古典漢文は隔週2時間ほどで、これにも2年生から4年生までが自発的に参加している。4年生の卒業論文指導は、スタッフ全員が随時のオフィス・アワーで助言しているほか、五月の連休明けに「卒論構想発表会」を、夏に「卒論中間発表会」を設け、大学院生や2・3年生が参加して助言や質問を行っている。

大学院教育については、随時のオフィス・アワーや「中国語学中国文学研究演習」（中国語学史中国文学史上の諸問題）で、スタッフが助言・指導を行っている。さらに前期課程院生には、夏合宿研究会にて自ら読みたい現代文と古典文一件ずつの輪読会を主催させている。加えて当専攻分野は、隣接する専攻分野である中国思想中国哲学・東洋史の関係者らとともに中国文史哲研究会を組織し、学術雑誌『集刊東洋学』を年2回発行しており、おもに後期課程院生がその運営に当たっている。前期課程院生には、該誌に登載された中国語学中国文学関係の論文の書評を担当させ、年2回の「『集刊東洋学』合評会」でそれを発表してもらっている。書評の作成によって、論文の読み方とその規範的な書き方を習得させるためである。また、後期課程院生については、学会における年1回程度の口頭発表と少なくとも年1回の論文作成およびその公表を要請しており、この目標はかなりの程度達成されている。論文は前掲の『集刊東洋学』のほか、『日本中国学会報』、『東方学』、『文化』、『東北大学中国語学文学論集』等に登載されている。

学部生・院生にはともに、留学を勧めている。ここ数年はたまたま学部生の留学が多かったが、2010年度にかけては後期課程院生が復旦大学に留学を果たしている。学部生・院生は、留学先政府等から奨学金を獲得しており、継続獲得により留学の延長を決める者も多い。

研究活動については、本学の他部局である東北アジア研究センター・大学院環境科学研究科・大学院国際文化研究科、および他専攻分野である中国思想中国哲学・東洋史等のスタッフとの共同研究が、東北アジア研究センター教授を中心とした特定領域研究「東アジア出版文化の研究」として科研費がつき、2001年度から数年間、当該共同研究に従事していた。さらに「『世説新語』読書会」「『道教義枢』読書会」があり、これらは、当専攻分野と東洋史や中国思想中国哲学の教員、および三専攻分野の院生、さらには東北アジアセンターの院生等が参加する、専攻縦断型の研究会になっている。また、研究の国際交流を図るために、中国・台湾から研究者を招いて講演会や共同研究を推進している。

社会貢献や学会活動については、複数のスタッフが各種委員や講演会講師、学会の会長・理事・評議員等をつとめている。

### Ⅲ 教員の研究活動（2010年度～2015年5月20日）

#### 1 教員による論文発表等

##### 1-1 論文

花登正宏「我が国における『洪武正韻彙編』の受容」、『學林』54・55 合併号、立命館大學中國藝文研究會、2011年12月

佐竹保子「日本近半世紀「竹林七賢」研究状況」、江建俊主編『竹林學的形成與域外流播』、里仁書局、49-101頁、2010年4月

佐竹保子・『世説新語』劉孝標注研究会「『世説新語』劉孝標注訳注稿（一）」、『東北大学中国語学文学論集』第15号、東北大学中国文学研究会、1-37頁、2010年11月

佐竹保子「謝靈運詩「心賞」考」、『集刊東洋学』第105号、中国文史哲研究会、21-42頁、2011年6月

佐竹保子・『世説新語』劉孝標注研究会「『世説新語』劉孝標注訳注稿（二）」、『東北大学中国語学文学論集』第16号、東北大学中国文学研究会、41-56頁、2011年11月

佐竹保子「謝靈運詩文中的「賞」和「情」——以「情用賞為美」句的解釋為

- 線索」、蔡瑜編『迴向自然的詩学』、國立臺灣大學出版中心、167-195 頁、2012 年 7 月
- 佐竹保子「九条家本『文選』について」、『東アジアをむすぶ漢籍文化——敦煌から正倉院、そして金沢文庫へ』、“HANJI 漢籍” Books Connection in the East Asia 予稿集（国立歴史民俗博物館 歴博国際シンポジウム）、118-131 頁、2012 年 11 月
- 佐竹保子・『世説新語』劉孝標注研究会「『世説新語』劉孝標注訳注稿（三）」、『東北大学中国語学文学論集』第 17 号、1-74 頁、2012 年 11 月
- 佐竹保子「謝靈運「遊南亭」詩における「賞心」——「惟良知」解釈とのかかわりにおいて——」、『集刊東洋学』第 109 号、23-41 頁、2013 年 6 月
- 佐竹保子「『詩経』から謝靈運詩までの頂真格の修辞——押韻句を跨ぐもの——」、『東北大学中国語学文学論集』第 19 号、東北大学中国文学研究会、1-24 頁、2014 年 12 月
- 馬曉地「半律之長消」、『東北大学中国語学文学論集』第 15 号、東北大学中国文学研究会、39-63 頁、2010 年 11 月
- 馬曉地「唐詩叙事的細節描写」、『東北大学中国語学文学論集』第 18 号、東北大学中国文学研究会、59-83 頁、2013 年 12 月
- 矢田尚子「笑う教示者——楚辞「漁父」の解釈をめぐって——」、『集刊東洋学』第 104 号、中国文史哲研究会、21-42 頁、2010 年 10 月
- 矢田尚子「「無病の呻吟」——楚辞「七諫」以下の五作品について——」、『東北大学中国語学文学論集』16 号、東北大学中国文学研究会、7-22 頁、2011 年 11 月
- 矢田尚子「唐代における宮女の男装について」、『着衣する身体と女性の周縁化』武田佐知子編、思文閣出版、200-214 頁、2012 年 4 月
- 土屋育子「元刊雜劇の研究（八）「火烧介子推」第三・四折全訳校注」（赤松紀彦氏・金文京氏・小松謙氏・佐藤晴彦氏・荀春生氏・高橋繁樹氏・高橋文治氏・竹内誠氏・松浦恆雄氏と共著）、『京都外国語大学 研究論叢』Vol.75、27-50 頁、2010 年 7 月
- 土屋育子「明清刊散齣集の収録演目に見られる特徴について」、『佐賀大学文化教育学部 研究論文集』第 16 集第 2 号、190-178 頁、2012 年 1 月
- 土屋育子「『董西廂』から『西廂記』への継承——曲辞と構成の側面から」、『中国文学報』（京都大学文学部中国語学中国文学研究室編集）第 82 冊、

57-111 頁、2012 年 4 月

土屋育子「岳飛をめぐる戯曲作品について——『東窓記』から『精忠記』への改編を中心に——」、『集刊東洋学』第 110 号、中国文史哲研究会、41-60 頁、2014 年 1 月

高戸聰「長沙子彈庫帛書」に見られる「神」の役割について」、『集刊東洋学』第 107 号、中国文史哲研究会、113-131 頁、2012 年 6 月

高戸聰「古代中国に於ける宗教職能者の諸相—巫と祝宗ト史—」、『東北アジア研究センター報告』8 号、東北大学東北アジア研究センター、89-107 頁、2013 年 3 月

## 1-2 著書・編著

2011 年度

土屋育子『元刊雑劇の研究（二）——貶夜郎・介子推』（赤松紀彦氏・金文京氏・小松謙氏・佐藤晴彦氏・荀春生氏・高橋繁樹氏・高橋文治氏・竹内誠氏・松浦恆雄氏と共編）、汲古書院、280 頁、2011 年 5 月

2012 年度

土屋育子『中国戯曲テキストの研究』、汲古書院、344 頁、2013 年 2 月

2014 年度

土屋育子『元刊雑劇の研究（三）——范張鷟』（赤松紀彦氏・金文京氏・小松謙氏・佐藤晴彦氏・荀春生氏・高橋繁樹氏・高橋文治氏・竹内誠氏・松浦恆雄氏と共編）、汲古書院、2014 年 10 月

## 1-3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

佐竹保子

「『隋書』音楽志訳注稿（五）」（林香奈氏・川合安氏・大形徹氏・柳川順子氏・長谷部剛氏・佐藤大志氏と、分担執筆）、『中国学研究論集』第 26 号、広島中国文学会、担当部分は 36-46 頁、2011 年 4 月

「李清照と趙明誠——古典中国最高の女流詩人とその夫——」、東北大学大学院文学研究科出版企画委員会編『人文社会科学講演シリーズVI 男と女の文化史』、東北大学出版会、75-121 頁、2013 年 3 月

『日本語大事典』佐藤武義・前田富祺編（4 項目執筆担当）、朝倉書店、2014 年 11 月

「アイデンティティと方法——国際漢学とは何か——」（Martin KERN

氏 *Identity and Method: What is International Sinology?* の翻訳)、  
『東北大学中国語学文学論集』第 19 号、東北大学中国文学研究会、  
93-103 頁、2014 年 12 月

土屋育子

「梅蘭芳『舞台生活四十年』訳注（続）」（于微微氏・韓立佳氏・張培育氏・姚遠氏と共著）、『佐賀大学文化教育学部 研究論文集』第 14 集第 2 号、147-162 頁、2010 年 1 月

「梅蘭芳『舞台生活四十年』訳注（三）」（井上智恵氏・柏雲瀚氏・姚遠氏と共著）、『佐賀大学文化教育学部 研究論文集』第 15 集第 1 号、69-88 頁、2010 年 8 月

「梅蘭芳『舞台生活四十年』訳注（四）」（顧靖宇氏と共著）、『佐賀大学文化教育学部 研究論文集』第 15 集第 2 号、113-128 頁、2011 年 1 月

「梅蘭芳『舞台生活四十年』訳注（五）」（顧靖宇氏と共著）、『佐賀大学文化教育学部 研究論文集』第 16 集第 1 号、61-86 頁、2011 年 8 月

「濱文庫所蔵唱本『美女五更思春』訳注」（戚世雋氏・中里見敬氏と共著）、『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）第 28 号、336-323 頁、2012 年 2 月

「濱文庫所蔵唱本『改良文明棍新編』訳注」（戚世雋氏・中里見敬氏と共著）、『文学研究』（九州大学大学院人文科学研究院）第 109 輯、31-50 頁、2012 年 3 月

「李攀龍・王世貞書簡譯注稿（一）」、『佐賀大学文化教育学部 研究論文集』第 17 集第 1 号、164(41)-150(55)頁、2012 年 8 月

「『聖蹟図説諺解』翻字と現代語訳」、『佐賀大学文化教育学部 研究論文集』第 17 集第 2 号、164(1)-152(13)頁、2013 年 1 月

『岩波 世界人名大辞典』岩波書店辞典編集部編（校閲・執筆者（「王驥徳」など 23 項目を担当））、岩波書店、2013 年 12 月

「梅蘭芳『舞台生活四十年』訳注（六）」、『文化』第 77 卷第 3・4 号、東北大学文学会、193(122)-174(141)頁、2014 年 3 月

「梅蘭芳『舞台生活四十年』訳注（七）」、『文化』第 78 卷第 3・4 号、

東北大学文学会、193(122)-174(141)頁、2015年5月  
『品梅記』（李玲氏と共著）、中国・文化芸術出版社、2015年

#### 1-4 口頭発表

佐竹保子「李善注「事無高翫、而情之所賞、即以爲美」考」、単独、台湾中央研究院訪問学者講演会、台湾中央研究院文哲研究所2階会議室／台湾台北市、2010年9月28日【国際学会】

佐竹保子「日本1937年至2009年阮籍嵇康研究状況」、単独、北京大学国際漢学家講演会、北京大学化学北楼／中国北京市、2011年9月8日【国際学会】

佐竹保子「九条家本『文選』について」、単独、歴博国際シンポジウム『東アジアをむすぶ漢籍文化——敦煌から正倉院、そして金沢文庫へ』、国立歴史民俗博物館講堂／千葉県佐倉市、2012年11月3日【国際学会】

佐竹保子「1981年前学期袁行霈教授講《中国詩歌芸術研究》課」、単独、国際漢学研究之回顧與前瞻研討會、北京大学英傑交流中心月光庁／中国北京市、2014年9月2日【国際学会】

佐竹保子「謝靈運詩中的人與物——以詩語「賞」爲線索——」、単独、以物觀物（臺灣・東亞與世界的互文脈絡）国際學術研討會、國立中山大學圖書資訊大樓11樓／台湾高雄市、2014年10月18日【国際学会】

佐竹保子「九世紀以前の中国「女流」文学」、単独、2015年度東北シナ学会4月例会、東北大学川内南キャンパス文学部第1講義室、2015年4月25日【国内学会】

矢田尚子「笑う教示者—楚辞「漁父」の解釈をめぐって—」、東北中国学会第59回大会研究発表、2010年5月30日【国内学会】

矢田尚子「孔子与屈原—汉代屈原评价之变迁—」、楚辞学国際學術討論会暨中国屈原学会第14届年会、金沙大酒店／中国福建省東山県、2011年6月5日【国際学会】

土屋育子「明代文人の交友～王世貞と李攀龍の書簡を中心に～」、九州大学中国文学会第258回中国文藝座談会、九州大学、2012年3月3日【国内学会】

高戸聰「出土文献「日書」に見える巫について」、東北中国学会第62回大会、ホテル森の風鶯宿／岩手県雫石町、2013年5月26日【国内学会】

高戸聰「『日書』中の「巫」と「狂」との関係について」、日本中国学会  
第 65 回大会、秋田大学／秋田市、2013 年 10 月 12 日【国内学会】  
田島花野「『楚辞』「招魂」・「大招」に見える他篇との類似表現」、東  
北中国学会第 64 回大会、東北大学／仙台市、2015 年 5 月 31 日【国内  
学会】

## 2 教員の受賞歴（2010 年度～2015 年 5 月 20 日）

なし

## IV 教員による競争的資金獲得（2010 年度～2015 年度）

### （1）科学研究費補助金

2010 年度

佐竹保子「南北朝楽府の多角的研究」（基盤研究（B）、分担、分担金なし）

佐竹保子「『世説新語』劉孝標注の漢魏晋六朝文献に関する総合的研究」（課  
題番号 22320068、基盤研究（B）、代表、416 万円）

土屋育子「明代戯曲テキストの受容に関する基礎的研究」（課題番号  
22720142、若手研究（B）、代表、78 万円）

2011 年度

佐竹保子「『世説新語』劉孝標注の漢魏晋六朝文献に関する総合的研究」（課  
題番号 22320068、基盤研究（B）、代表、169 万円）

土屋育子「明代戯曲テキストの受容に関する基礎的研究」（課題番号  
22720142、若手研究（B）、代表、65 万円）

2012 年度

佐竹保子「『世説新語』劉孝標注の漢魏晋六朝文献に関する総合的研究」（課  
題番号 22320068、基盤研究（B）、代表、156 万円）

佐竹保子「隋唐楽府文学の総合的研究」（課題番号 24320070、基盤研究（B）、  
分担、分担金 75,000 円）

土屋育子「中国戯曲テキストの研究」（課題番号 245055、科学研究費助成  
事業（科学研究費補助金（研究成果公開促進費））学術図書、代表、100  
万円）

2013 年度



佐竹保子「『世説新語』劉孝標注の漢魏晋六朝文献に関する総合的研究」（課題番号 22320068、基盤研究（B）、代表、143万円）

佐竹保子「隋唐楽府文学の総合的研究」（課題番号 24320070、基盤研究（B）、分担、分担金 75,000円）

土屋育子「『六十種曲』を中心とする中国古典戯曲の研究」（課題番号 25370400、基盤研究（C）、代表、91万円）

2014年度

佐竹保子「隋唐楽府文学の総合的研究」（課題番号 24320070、基盤研究（B）、分担、分担金 75,000円）

土屋育子「『六十種曲』を中心とする中国古典戯曲の研究」（課題番号 25370400、基盤研究（C）、代表、78万円）

2015年度

土屋育子「『六十種曲』を中心とする中国古典戯曲の研究」（課題番号 25370400、基盤研究（C）、代表、78万円）

土屋育子「地域の文化財群としての小城鍋島藩蔵書の研究—その全貌の解明と具体例の分析」（課題番号 15K02251、基盤研究（C）、分担、41.2万円）

**(2) その他**（総長裁量経費、研究科長裁量経費、受託研究費等）

なし

## **V 教員による社会貢献（2010年度～2015年5月20日）**

花登正宏

日本学術会議連携会員 2006年4月1日～2012年3月31日

佐竹保子

NHK文化センター市民講座講師「漢詩を読む」2001年～2015年

みやぎ霊園文化講演会「ふれあいゼミナール 2010 第12回」にて「中国古典“陶淵明”漢詩の世界」、仙台市榴ヶ岡市民センター、2010年5月8日

独立行政法人日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員 2008年8月1日～2010年7月31日

東北大学植物園公開市民講座「ウメ、モモ、サクラの木の文化」にて「中国文学の中の梅と桃」、東北大学植物園講義室、2010年10月9日

第十期有備館講座「男と女」にて「李清照と趙明誠」、岩出山スクーレハウス、2011年6月18日

栃木県立宇都宮女子高等学校の依頼にて模擬授業「古典中国最高の女流詩人 李清照の生涯と詞」、栃木県立宇都宮女子高等学校、2011年10月24日

宮城県吟道連盟漢詩講座「唐詩の魅力——李白に因る「杜甫」の誕生——」、仙台市シルバーセンター7階第1研修室、2011年12月11日

宮城県吟道連盟講座「『詩経』を読む」、仙台メディアテーク7階スタジオシアター、2012年6月22日

宮城県吟道連盟講座「杜甫「新婚別」を読む」、仙台メディアテーク7階スタジオシアター、2013年5月24日

宮城県立仙台第二高等学校にて出前授業「陶淵明の詩のことば」、宮城県立第二高等学校、2013年12月5日

#### 馬暁地

仙台市日中友好協会主催中国語講演会の審査委員長または審査委員、2008年度～2012年度

#### 矢田尚子

東北学院大学アジア流域文化研究所「新時代における日中韓周縁域社会の宗教文化構造研究プロジェクト」公開講演会、東北学院大学土樋キャンパス6号館621教室、2012年7月14日

#### 土屋育子

東北大学大学院文学研究科 市民のための公開講座「第7期齋理蔵の講座 文化理解（解釈）のキーワード」にて「中国の伝統劇と日本の古典芸能」、丸森町齋理屋敷、2014年8月2日

長野県長野高等学校にて模擬授業「物語の成立と発展——『三国志演義』をめぐって——」、長野県長野高等学校、2014年10月25日

## VI 教員による学会役員等の引き受け状況（2010年度～2015年度）

花登正宏

東北中国学会会長（2010年5月まで）  
中国文史哲研究会会長（2012年3月まで）  
日本中国学会理事  
日本中国語学会理事  
東方学会地区委員

佐竹保子

日本中国学会理事  
東方学会地区委員・学術委員  
六朝学術学会理事  
中国文史哲研究会常任編集顧問  
中国社会文化学会評議員  
日本道教学会評議員  
東北中国学会会長

土屋育子

中国文史哲研究会常任編集顧問

高戸聰

中国文史哲研究会『集刊東洋学』編集責任者

## VII 教員の教育活動

### （1）学内授業担当（2015年度）

#### 1 大学院授業担当

佐竹保子

中国語学中国文学研究演習ⅠⅡ 『文選』読解  
中国語学中国文学研究演習ⅠⅡ 中国語学史中国文学史上の諸問題  
課題研究

馬曉地

人文社会科学研究

中国語学中国文学特論ⅠⅡ 唐代叙事詩

中国語学中国文学研究演習ⅠⅡ 当代文学研究

土屋育子

中国語学中国文学研究演習ⅠⅡ 中国戯曲研究

中国語学中国文学研究演習ⅠⅡ 中国語学史中国文学史上の諸問題

内山精也 講師（非常勤講師・早稲田大学教育総合科学学術院）

中国語学中国文学特論Ⅲ 宋詩の位相

## 2 学部授業担当

佐竹保子

中国文学概論 中国の恋愛詩（ウラ文学史）

中国文学基礎講読 中国語実用文法研究

中国文学演習 『文選』読解

人文社会科学総論（分担） 中国文学紹介

馬曉地

中国語基礎演習 中級会話

中国文学各論 唐代叙事詩

中国文学演習 当代文学研究

土屋育子

中国文学概論 中国の小説と戯曲

中国文学演習 中国戯曲研究

内山精也 講師（非常勤講師・早稲田大学教育総合科学学術院）

中国語学中国文学特論Ⅲ 宋詩の位相

## 3 共通科目・全学科目授業担当

馬曉地

中国語 初級中国語

専門中国語 中級中国語

展開中国語

田島花野

漢文講読 伝奇小説を読む

## (2) 他大学への出講 (2010 年度～2015 年度)

花登正宏

名古屋大学大学院文学研究科 (2011 年度)

佐竹保子

宮城教育大学教育学部 (2010 年度～2011 年度)

名古屋大学大学院文学研究科 (2012 年度)

放送大学 宮城学習センター (2013 年度第 1 学期、2014 年度第 1 学期)

神戸大学大学院文学研究科 (2015 年度第 1 学期)

矢田尚子

宮城教育大学教育学部 (2010 年度～2011 年度)

宮城学院女子大学 (2010 年度～2011 年度)

土屋育子

華東師範大学 (2012 年 10 月 8～12 日、日本文化講座、全 15 回のうち 5 コマ分を担当)

高戸聰

東北学院大学 (2012 年度)

宮城学院女子大学 (2012 年度～2013 年度)

田島花野

東北学院大学 (2015 年度)